

今回、私は長久手市の中学生の代表の一人として、終戦七十年の記念式典に参列する為、広島へ行ってきました。

初めて見る原爆ドーム。骨組しかありませんでした。当時の威力が伺える建物でした。

資料館では、原子爆弾投下直後の被爆した人々の様子などが展示してありました。私はその展示物を見て、原子爆弾の恐ろしさをしみじみと感じました。特に、被爆した人たちの、抜けた髪の毛や爪などの展示物が私の中では印象的でした。

平和記念公園に、皆さんから預かった千羽鶴を、無事届けることができました。私達以外にも、海外から訪れた観光客がたくさんいました。平和を願っているのは日本人だけではなく、住んでいる場所が違ってても、持っている考えは一緒なんだなあと思いました。

式典は、まず広島市長による式辞から始まりました。

安倍総理は戦争のことを語られていました。周りの雰囲気は、とても重たい感じでした。

この平和な日本で暮らせるのも、憲法第九条のおかげだと思います。世界では未だに戦争やテロで犠牲になって苦しんでいる人がたくさんいます。そういうことがなくなるように、まずは、自分にできることは何があるのか、よく考えてみたいと思います。その上で、この世界が平和になることを願います。



私が広島に行つて思ったことは、「平和に対する思い」がとても強いということでした。テレビのCMも、そういうものが、すごく多くて、自分が想像していたものよりも多かったので、驚きました。あと、核廃絶の署名や、デモの人が、本当にすごかったです。

博物館では、生死の境みたいな模型があつて、なんかすごくリアルで、悲しくなりました。あと、本物の服や、壁、レンガなどがあつて、服はボロボロで血がういていてぞわっとしました。あと、被爆による被害も初めて知つて、髪の毛が抜けたりするのも知りました。本当に怖いと思いました。

私は家に帰った日の夜テレビで、被爆した方が話をしていて、「いろんなことを乗り越えてきたから、ちよつとのこと若い人たちには負けない。」と言っていて、私は確かに勝てないと思いました。

私は、「水をください。」と言っているのに、水をあげたら亡くなってしまう理由が、ずっと分からなかつたです。でも、広島平和記念資料館に行つて、「安心して、緊張が解けて、亡くなってしまう。」というのが分かりました。家に帰つて調べてみたらその意見の他にも、「水分をとると、血流が良くなつてけがをしている場合は、出血する場合があります。」と書いてありました。

一日目に食べた広島焼は、めちゃくちゃおいしかったです。

すごく貴重な体験ができてすごくよかったです。応募してよかったと本当に思いました。色々な原爆のことなどを知ることができいい勉強になりました。